

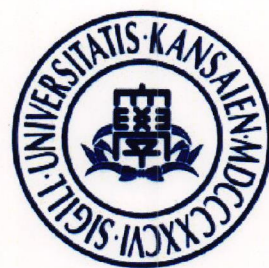
学の実化<sup>じっげ</sup>【関西大学文学部&RYLA国際委員会連携】公開講座

# RYLA

## ワークショップ2008

### どのように社会と「かかわる」のか？

～職業人（ロータリアン）との対話から学ぶ～



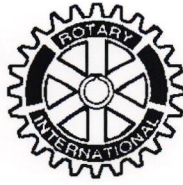
**日時** 2008年5月24日(土) 14:00～16:00

**会場** 関西大学 第1学舎1号館 A602 & A302

**主催** 関西大学文学部  
国際ロータリー-第2660地区青少年活動委員会

**主管** 関西大学文学部総合人文学科身体運動文化専修





# ROTARY INTERNATIONAL

*Service Above Self - They Profit Most Who Serve Best*

## 国際ロータリー第2660地区 '07~'08年度 第2回クラブ青少年活動正副委員長会議次第 ライラワークショップ式次第

日時 平成20年5月24日(土) 13:00~16:00  
会場 関西大学千里キャンパス 第1学舎1号館

一部：クラブ青少年活動正副委員長会議 (13:00~13:40) A602 教室

1. 資料確認と出席者の紹介(出席表にて)  
青少年活動副委員長 金馬 隆仁
2. ロータリーソング 「奉仕の理想」
3. 地区第2組ガバナー補佐挨拶 芳賀 洋
4. 青少年活動委員長挨拶 西上 博幸
5. アンケートによる活動報告紹介  
①各クラブの現況報告  
②その他
6. 講評 直前委員長 泉 博朗

休 憩

二部：ライラワークショップ (13:45~16:00)

1. 文学部長挨拶 副学部長 山本 卓
2. パネルディスカッション 【求められている『かかわり』とは】  
コーディネイター：青少年活動副委員長 土井 靖士  
パネラー： 少年少女ニコニコキャンプ実行委員長 明石 巧  
秋のライラ実行委員長 津田 宏  
春のライラ実行委員長代理 杉村 雅之  
青少年活動委員長 西上 博幸

休 憩 (部屋の移動含む10分) A301・A302 教室

3. 学の実化講座：学生とロータリアンのグループ討議 安田准教授
4. 閉会の挨拶 関西大学文学部 溝畑代表

# プログラム

## 一部：第2回クラブ青少年活動正副委員長会議 A602 教室

13:00	開 会	青少年活動委員副委員長	金馬 隆仁
13:01	ロータリーソング	「奉仕の理想」	
13:05	地区第2組ガバナー補佐挨拶		芳賀 洋
13:10	青少年活動委員長挨拶		西上 博幸
13:15	アンケートによる各クラブの活動報告紹介		
		青少年活動副委員長	金馬 隆仁
	① 各クラブ活動報告		
	② その他		
13:35	講 評	青少年活動直前委員長	泉 博朗

### 休憩

## 二部：ライラワークショップ

13:45	開 会	関西大学文学部教授	伴 義孝
13:47	文学部長 挨拶	関西大学文学部副部長	山本 卓
13:50	パネルディスカッション	【求められている『かかわり』とは】	
	コーディネイター	青少年活動副委員長	土井 靖士
	パネラー	少年少女ニコニコキャンプ実行委員長	明石 巧
		秋のライラ実行委員長	津田 宏
		春のライラ実行委員長代理	杉村 雅之
		地区青少年活動委員長	西上 博幸
14:20	休憩 教室移動	A301.A302 教室	
14:30	学の実化講座	関西大学文学部准教授	安田 忠典
	学生とロータリアンのグループ討議		
15:55	閉会の挨拶	身体運動文化専修代表	溝畑 寛治
16:00	閉会		



# ロータリークラブとは？

ロータリークラブは、1905年に、アメリカのシカゴにおいて最初のクラブが誕生。  
日本のクラブは、1920年に、東京に初めて誕生。

**目 的** = 「職業奉仕」（会員の職業倫理を高める）  
そして、「社会奉仕」と「国際親善」。  
そのために、「*I serve*」：私は奉仕する」を基本として行動する。

**行動基準** = ロータリアンは次の「The Four-Way Test」を言行の基準としています。

- (1) 真実かどうか ( *Is it the TRUTH?* )
- (2) みんなに公平か ( *Is it FAIR to all concerned?* )
- (3) 好意と友情を深めるか ( *Will it build GOODWILL and BETTER FREINDSHIPS?* )
- (4) みんなのためになるかどうか ( *Will it be BENEFICIAL to all concerned?* )

**モットー** = 超我の奉仕 ( *Service Above Self* )

⇒ *Service Above Self.*

*He profits most who serves best.*

## RYLA (ライラ) について

ライラとは、Rotary Youth Leadership Awards の頭文字をとったもの。ライラとは1971年に国際ロータリークラブで採用された青少年指導者養成プログラムです。世界に国々で実施されています。

RYLAの目標は次のとおりです。

- ① ロータリーの青少年 (14歳から30歳まで) への尊重や配慮を身をもって示すこと。
- ② 選ばれた青少年や潜在性を有する将来の指導者に対して効果的な研修を与えること。
- ③ 青少年の指導力を青少年によって促進させること。
- ④ 地域社会のために奉仕を行う青少年を認証すること。

— 以上 —

## パネルディスカッション

# 求められている『かかわり』とは

### コーディネイター

青少年活動副委員長

土井 靖士

### パネラー

少年少女ニコニコキャンプ実行委員長

明石 巧

秋のライラ 実行委員長

津田 宏

春のライラ 実行委員長代理

杉村 雅之

地区青少年活動委員長

西上 博幸

1. パネラーの紹介およびコーディネイターの自己紹介
2. ミニ・シンポジウム

### 【 話 題 】

- ① 青少年とのかかわりについて事例発表
- ② 少年少女ニコニコキャンプ、秋・春のライラのホストクラブとして実施前後の青少年に対する捉え方、またクラブがどのように変化したか
- ③ 少年少女ニコニコキャンプ、秋・春のライラの地区委員会としての青少年に対する考え方
- ④ ロータリアンが期待する青少年の未来像

---

## 学の実化講座

### 学生とロータリアンのグループ討議 討論テーマ「社会に求められる青年とは」

#### 討論に向けてのメッセージ

この企画は、社会のリーダーとしてのロータリアンと大学生が直接対話する機会を設けようとするものです。そこでは、ロータリアンにとっては次世代を担う若者の考え方や意見に直接触れることができ、学生にとってはこれから漕ぎ出す「社会」において自分たちは何を求められているのか、どのように自己研鑽を積むべきかを汲み取ることができるでしょう。

実際、昨年のワークショップでも、非常に充実した時間を持つことができた、予想以上の高評価を得ることができました。どうか、今回縁あって参加された学生たちには、この貴重な機会を十分に生かしていただきたいと思います。また、ロータリアンのみなさんには、この機会に次世代を担う青年たちの「生」の声に耳を傾け、かれらを育てるための参考にして頂ければと願ってやみません。

グループ討議は、討論というよりはフランクなトークセッションのような流れで進行するので、あまり緊張せずに臨んで下さい。打ち解けた雰囲気の中かで、「本音トーク」ができれば、すばらしい収穫を得ることができるはずです。

#### 進行の手順

- ① 学生2名・ロータリアン2名の合計4名程度でテーブルに別れます。入室時にくじを引いて、出た番号の席に座ります。
- ② それぞれのテーブルでグループ討議を行う。学生はメモをとりながら話しましょう。
- ③ 学生は社会の第一線で活躍するさまざまな職業領域の「ロータリアン＝社会のリーダー」の「人生観」や「ものの見方」などに触れてほしいと思います。

- M E M O -

A series of horizontal dashed lines for writing.



